

1 はじめに

広浦小学校の4年生の教室からは涸沼をながめることができます。児童の中には涸沼湖岸に住んでいる人もいます。わたしたちにとって涸沼は、小さいときから当たり前のように生活の中に息づいています。4年生の総合的な学習の時間には、「涸沼とともに」というテーマのもと、各自が課題を設定し、その課題解決のために調べ学習を進めています。



2 総合的な学習の時間での取り組み

1) 「広浦水族館」の観察

広浦小学校の児童用の昇降口を入ると、大きな水槽があります。小さな水槽もたくさんあり、全部で13の水槽があります。この一画を「広浦水族館」と名付けています。水槽には、涸沼で生息しているウナギ・ギンブナ・ナマズ・フナ・カメ・メダカ・コイ・タナゴなどが元気に泳いでいます。4年生が、毎日魚の様子や水槽の水の様子を観察して日誌に記録しています。エサやりは、月ごとに担当学年が決まっています、交代でやっています。エサになるミミズは養殖しています。



2) ヤマトシジミの稚貝放流体験（平成24年11月7日水曜日）

大涸沼漁業協同組合の方々に、シジミの稚貝放流の手伝いをさせていただきました。ここで、シジミには浄化作用があるということも教えてもらいました。涸沼の水もシジミによって浄化されることが分かりました。

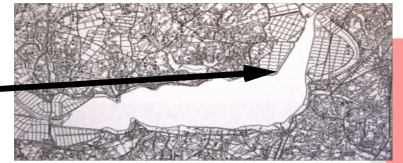


3) 涸沼の水質検査

涸沼の水質について、中石崎宮前地区と秋の月付近の2箇所で行ったパックテストを行いCOD値を調べました。



(COD 値)	気温	宮前地区	秋の月
7月16日	28℃	10 * 少し緑色	10 * 少し緑色
11月7日	20℃	5 * 透明に近い	5 * 透明に近い



3 涸沼の環境を守る取り組み

1) 涸沼浄化キャンペーン歩く会（平成24年5月26日土曜日実施）

広浦小学校から広浦秋の月まで、わたしたち小学生、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そして地区の高年者の方々を合わせ、総勢約120人で歩きながらごみを拾いました。広浦公園や広浦港など、人が集まるところにゴミが多く見られました。



2) 広浦清掃（平成24年10月22日月曜日実施）

今年度も広浦秋の月で、全校児童が縦割り班（6班）に分かれ、ゴミ拾いをしました。秋の月には、釣り糸やたばこの吸い殻が捨てられたままになっていました。また、空になったコンビニ弁当の容器や発泡スチロールの箱なども捨てられました。



4 まとめ

昔のような水のきれいな涸沼にしていくためには、みんなが自然を大切にする意識をもち、涸沼をきれいにしていくための最善の努力を続けていくことが大切だと思います。わたしたちは、学んだだけで終わりにせず、地域の道路などにゴミを捨てないようにしたり、家庭から汚れた水を流さないようにしたりするなど涸沼をきれいにしていくための小さな努力を続けていきたいと思っています。

